



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 バナーズ

コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 守屋 武

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 藤牧由亘

TEL 048-523-2018

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	812	63.0	36	83.8	28	—	21	—
23年3月期第2四半期	1,289	19.8	43	△9.4	△19	—	△24	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 21百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	0.53	—
23年3月期第2四半期	△0.93	—

(注) 平成23年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しましたが、前連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期当期純利益又は四半期純損失を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,890	2,488	50.9
23年3月期	4,721	2,467	52.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,488百万円 23年3月期 2,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,962	△17.2	60	△39.8	57	565.8	47	—	1.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の予想値に関して修正はありません。なお、平成23年10月1日付で当社普通株式10株を1株に併合しており、それにより平成24年3月期の1株あたり当期純利益の予想値は1円17銭となっております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	404,721,725 株	23年3月期	266,721,725 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,534,043 株	23年3月期	1,533,948 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	403,187,685 株	23年3月期2Q	265,187,777 株

(注)平成23年10月1日をもって10株を1株に株式併合し、発行済株式総数は40,472,172株となっております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実施の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響を受け、経済活動が低下するとともに、消費マインドの冷え込みにより個人消費が低迷するなどの厳しい状況となりました。その後、企業の生産体制も回復しつつあり、個人消費もやや回復してきております。しかしながら、海外における経済不安が世界経済、ひいては国内経済に与える影響への懸念などもあり、今後の景気動向は楽観を許さない状況にあると思われれます。

このような状況の中、当社グループでは、不動産利用事業においては安定収入の維持拡大に向けての再開発に着手するとともに、自動車販売事業においても売上高の拡大・収益増大を図るべく、店舗のリニューアル計画の推進等を行ってまいりました。

その結果、当社グループの売上高は812百万円（前年同四半期比63.0%）となりました。収益面では、営業利益36百万円（前年同四半期比83.8%）、経常利益28百万円（前年同四半期経常損失19百万円）、四半期純利益21百万円（前年同四半期純損失24百万円）となりました。

[セグメントの概況]

(不動産利用)

新規の大手テナント（株式会社ニトリ）への賃貸に向けて一部の賃貸用建物の新築（建替）中という状況であり、売上高は136百万円（前年同四半期比89.8%）、セグメント利益は96百万円（前年同四半期比88.6%）となりました。

(自動車販売)

当第2四半期連結累計期間の初め頃に震災の影響により商品の入荷が制約されたことや消費マインドの冷え込みの影響による売上高の減少がありましたが、一層のコスト削減や販売・サービスにおける付加価値を高める努力等により売上高は675百万円（前年同四半期比59.4%）、セグメント利益5百万円（前年同四半期比191.4%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は、受取手形及び売掛金や前払費用、短期貸付金の増加等により前連結会計年度末比168百万円増の4,890百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は未払金や預り保証金の増加等により前連結会計年度末比148百万円増の2,402百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は利益剰余金の増加により前連結会計年度末比21百万円増の2,488百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の予想値に関して平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました業績予想に対する修正はありません。なお、平成23年10月1日付で当社普通株式10株を1株に併合しており、それにより平成24年3月期の1株あたり当期純利益の予想値は1円17銭となっております。

(ご参考)

当社の事業領域は、不動産利用事業並びに自動車販売事業であります。

不動産利用事業におきましては、近年の少子高齢化などの社会状況の変化や地域社会のニーズの変化に合致した、地域住民に愛され親しまれる生活密着型の店舗・施設作りやテナント誘致を推進いたしますと共に、こうした経営資源の利用効率の見直し等、慎重で着実なる施策を検討・実施しております。具体的な施策としましては、熊谷市内の当社所有の商業施設の再開発・新規テナント誘致を進めております。平成23年6月9日に株式会社ニトリとの間で土地建物賃貸借予約契約が締結され、平成23年11月中には、新規賃貸建物が竣工する予定であります。

自動車販売事業におきましては、世界的な環境問題への関心の高まりなどを受けた自動車需要のトレンド変化に対応した事業展開を引続き積極的に行います。不確定要素が増える中、需要変動に機敏に対応し、機会損失や在庫リスクの回避に注力いたします。また、ショールームのリニューアルの検討やお客様のニーズに的確に対応したアフターサービスの充実化、保険収益などの付帯利益拡大化、法人営業部門の販売網の構築・強化につとめ、競争力を高めてまいります。具体的な施策として、ショールームのリニューアルの検討を進めた結果、連結子会社の株式会社ホンダニュー埼玉（屋号Honda Cars 熊谷）の熊谷店と寄居店の2店舗のリニューアルを平成24年3月期中に実施する予定です。熊谷店につきましては、平成24年3月期第3四半期中にはリニューアルオープンの見込みであります。

こうした取り組みにより、社会・経営環境の変化に迅速且つ的確に対応できる経営体制の構築を継続することにより、さらなる経営効率の向上を図り収益力の増大を図っていく所存であります。

また当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けておりますが、前期の配当につきましては、引き続き当グループの経営環境及び収益状況を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。今後の利益配分の基本方針といたしましては、中期的な観点に立って株主の皆様への安定的な利益還元を行うことを引き続き基本方針と位置付け、復配の実現を目標に、更なる不動産利用事業における安定的な賃貸収入の維持拡大と自動車販売事業の一層の体質強化を推し進め、企業価値の増大を図ることにより今期以降の出来るだけ早期に株主の皆様のご支援にお応えしたいと考えております。

平成23年10月1日を効力発生日として当社普通株式について10株を1株に併合いたしました。この株式併合の結果、当社の発行済株式総数は404,721,725株から40,472,172株となり、これにより比較的近い将来における復配の具体的な可能性は高まってきたと考えております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）、「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

平成23年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益又は1株あたり四半期純損失を算定しております。

なお、これによる影響については、「1株当たり四半期純利益」に記載しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	525,694	489,245
受取手形及び売掛金	16,596	29,830
商品及び製品	67,048	65,973
原材料及び貯蔵品	106	—
前払費用	2,782	26,957
短期貸付金	200,000	320,000
繰延税金資産	4,229	3,317
その他	1,664	10,360
貸倒引当金	△172	△252
流動資産合計	817,949	945,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,745,680	2,734,388
減価償却累計額	△1,994,569	△2,011,364
建物及び構築物(純額)	751,111	723,024
機械装置及び運搬具	80,306	78,186
減価償却累計額	△37,584	△44,677
機械装置及び運搬具(純額)	42,721	33,509
工具、器具及び備品	18,264	17,421
減価償却累計額	△16,984	△16,053
工具、器具及び備品(純額)	1,279	1,368
土地	2,998,507	2,998,507
建設仮勘定	1,085	86,743
有形固定資産合計	3,794,706	3,843,153
無形固定資産		
その他	1,641	1,560
無形固定資産合計	1,641	1,560
投資その他の資産		
投資有価証券	18,600	18,600
長期貸付金	734,354	734,354
繰延税金資産	2,051	2,085
その他	16,950	17,988
貸倒引当金	△664,354	△672,354
投資その他の資産合計	107,601	100,673
固定資産合計	3,903,949	3,945,388
資産合計	4,721,899	4,890,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	142,474	138,086
短期借入金	100,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	68,314	98,878
1年内返還予定の預り保証金	43,679	43,679
未払費用	14,381	12,843
未払金	23,541	45,563
未払法人税等	11,648	1,758
未払消費税等	8,203	2,997
賞与引当金	7,846	7,565
前受金	77,872	94,854
固定資産除却損失引当金	15,225	—
その他	2,847	2,797
流動負債合計	516,035	599,021
固定負債		
長期借入金	125,920	93,238
長期未払金	106,560	99,180
繰延税金負債	4,711	4,593
退職給付引当金	20,972	21,845
役員退職慰労引当金	9,446	9,126
預り保証金	518,571	622,732
再評価に係る繰延税金負債	952,543	952,543
固定負債合計	1,738,725	1,803,260
負債合計	2,254,760	2,402,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	551,076	551,076
利益剰余金	233,995	255,395
自己株式	△30,541	△30,541
株主資本合計	1,061,901	1,083,300
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,405,238	1,405,238
その他の包括利益累計額合計	1,405,238	1,405,238
純資産合計	2,467,139	2,488,539
負債純資産合計	4,721,899	4,890,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,289,261	812,361
売上原価	1,010,445	575,418
売上総利益	278,816	236,943
販売費及び一般管理費	234,832	200,080
営業利益	43,983	36,862
営業外収益		
受取利息	2,601	2,699
受取配当金	83	81
その他	5,451	305
営業外収益合計	8,136	3,086
営業外費用		
支払利息	3,164	2,420
貸倒引当金繰入額	68,000	8,000
その他	474	1,504
営業外費用合計	71,638	11,925
経常利益又は経常損失(△)	△19,518	28,023
特別利益		
固定資産売却益	2,653	1,934
貸倒引当金戻入額	159	—
特別利益合計	2,813	1,934
特別損失		
固定資産売却損	—	6,713
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,624	—
特別損失合計	4,624	6,713
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,330	23,244
法人税、住民税及び事業税	825	1,987
法人税等調整額	2,403	△142
法人税等合計	3,228	1,844
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,558	21,399
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,558	21,399

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△24,558	21,399
四半期包括利益	△24,558	21,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,558	21,399
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,330	23,244
減価償却費	40,074	37,257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,624	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,792	873
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	669	△319
貸倒引当金の増減額(△は減少)	67,840	8,079
賞与引当金の増減額(△は減少)	△96	△281
受取利息及び受取配当金	△2,685	△2,780
支払利息	3,164	2,420
固定資産除却損	—	5,395
固定資産除却損失引当金の増減額(△は減少)	—	△15,225
固定資産売却損益(△は益)	△2,653	△2,674
売上債権の増減額(△は増加)	20,393	△14,264
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,506	2,979
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,349	△4,388
未払消費税等の増減額(△は減少)	△464	△5,209
その他の資産・負債の増減額	△36,292	100,131
小計	33,181	135,239
利息及び配当金の受取額	138	3,580
利息の支払額	△3,914	△2,432
法人税等の支払額	△1,650	△10,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,754	126,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,732	△4,200
有形固定資産の取得による支出	△19,860	△92,731
有形固定資産の売却による収入	9,709	3,513
投資有価証券の取得による支出	△50	—
貸付けによる支出	—	△120,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,933	△213,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△185,000	△150,000
長期借入れによる収入	166,000	33,514
長期借入金の返済による支出	△22,264	△35,632
社債の償還による支出	△100,000	—
割賦債務の返済による支出	△62,928	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,192	47,882

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△39,370	△39,448
現金及び現金同等物の期首残高	322,468	521,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	283,097	481,745

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	151,998	1,137,262	1,289,261	—	1,289,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,892	—	11,892	△11,892	—
計	163,891	1,137,262	1,301,154	△11,892	1,289,261
セグメント利益又は損失(△)	108,498	3,049	111,547	△67,564※	43,983

(注) 1. セグメント利益の調整額67,564千円には、セグメント間取引消去11,892千円、各報告セグメントに配分していない全社費用55,672千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
※四半期連結損益計算書の営業利益

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	136,528	675,833	812,361	—	812,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,990	—	8,990	△8,990	—
計	145,518	675,833	821,352	△8,990	812,361
セグメント利益又は損失(△)	96,171	5,836	102,007	△65,144※	36,862

(注) 1. セグメント利益の調整額65,144千円には、セグメント間取引消去8,990千円、各報告セグメントに配分していない全社費用56,154千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
※四半期連結損益計算書の営業利益

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象

当社は、平成23年10月1日付で当社普通株式について10株を1株とする株式併合を行っております。これにより、当社の発行済株式総数は40,472,172株となりました。